

たっぷい

阿賀野の冬を満喫♪

2月7日に行われた「かんじき体験&雪あそび」。
雪の上で「パン食い競走」に挑戦したり、「巨大すべり台」を楽しんだり、
冬にしか味わえない雪あそびを、親子で存分に満喫しました！
(詳しくは、6ページ「市内見て歩記」で紹介しています)

2010(平成22年)
3
第72号

広報

あがの

- 新年度の新規・拡充事業…………… 2～3
- 市民交流エリアを考える、まちづくり条例…………… 4～5
- 市内見て歩記…………… 6～7
- お知らせ版…………… 8～13
- 阿賀野高校、病院、健康通信…………… 14～17
- 生涯学習のススメ、おしゃべり広場…………… 18～21
- 私の住む地域、クイズ、キッズほか…………… 22～24

新規事業と 拡充事業

新年度に実施したい



阿賀野市誕生から10年を経過する平成26年度からは、市に交付される地方交付税が現在の旧4か町村別に算定されたものを積み上げる方式から、阿賀野市単体として算定される、いわゆる「一本算定」となることにより、地方交付税の総額が現在より約15億円程度減額になると見込まれています。市の歳入は、これまでも地方交付税への財源依存の高い状態が続き、経済不況に伴う税収の減少により、さらに厳しいものとなっています。一方、歳出では、人件費、借入金の元利償還金、

水原郷病院への財政負担など構造的に多額の支出を伴う状況となっています。このような状況ではありますが、平成22年度においては、総額約171億円の一般会計予算を含む当初予算(案)を編成し、国の平成21年度補正予算関連事業(第1次、第2次補正の本市分約14億円)とも連動しながら、市政運営に取り組むこととしています。平成22年度当初予算(案)は、3月3日から始まる定例議会において慎重審議のうえ決定するものですが、市民の皆さまの生活に関係のある事業で、新規または拡大して実施したいとする事業について概略をお知らせします。下表の()内は予算額(案)です。

少子・高齢化対策(福祉・保健関連施策)

フィンランドプロジェクト推進事業 (2,140千円)		阿賀野スタイルの確立
元気づくり共同事業		
水の中運動教室	元気づくり サポーター養成	福祉先進国フィンランドの介護予防概念と手法を学び、保健・福祉・医療の連携による包括的なケアシステム(阿賀野スタイル)を確立します。
シャキィいき! 健康法教室	元気づくり サポーター養成	元気づくりサポーターを養成します。
白鳥荘とザップ水原スイミングスクールのプールで、水の特性を活用したひざ痛、腰痛改善など心身機能向上に効果的な水中運動教室を行います。	元気づくり サポーター養成	元気づくりサポーターを養成します。

地域経済対策	産地づくり総合支援事業 (11,300千円)	中小建設業者支援事業 (60,200千円) (※補)
	転作物物の大豆の交付金差額を補てんすることで、大豆の安定的供給や生産振興を進め、地域特産品・ブランド化による複合営農を推進します。	自治会や地域からの要望の多い舗装修繕、側溝修繕等を市単独事業として実施し、安全・安心なまちづくりを進めるとともに、中小建設業者を支援します。

安全・安心なまちづくり

木造住宅耐震改修等支援事業 (5,650千円)	木造住宅耐震診断助成事業により耐震診断を実施した住宅の改修を行う場合、経費の一部を補助します。
消防ポンプ自動車更新事業 (29,157千円)	平成6年に配備した消防ポンプ自動車を消防庁の補助を受けて更新します。

少子・高齢化対策(福祉・保健関連施策)

特定不妊治療費助成事業 (1,120千円)	身体的・精神的負担のみならず、経済的な負担も大きい不妊治療に要した費用の一部を助成します。
休日保育事業 (1,176千円)	日曜日や国民の祝日等に児童を保育できる環境を整備し、子育て支援を行います。
病児・病後児保育事業 (6,410千円)	病気の児童を一時的に保育したり、保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行うことで、安心して子育てができる環境を整備します。
保育所AED設置促進事業 感染症対策・食育推進事業 (11,296千円)	新潟県安心子ども基金事業を活用し、保育園児の不測の事態に備え、各保育園にAEDと感染症対策として空気清浄機を設置し、安心できる環境を整えます。また、3歳以上の児童にランチョンマットを配布し食育事業を推進します。

教育の充実

耐震補強事業 (※補) (1,381,363千円)	堀越小学校、笹岡小学校、安田中学校の耐震補強・改造工事を行い、子どもたちが安心して学習できる環境を整備します。
水原中学校改築事業 (37,262千円)	築50年を経過した水原中学校の改築に向け、基本設計、地質調査設計を進めます。
国民読書年事業 (2,650千円) (※補)	平成22年は「国民読書年」です。市民の皆さんから読書への関心を高めていただくため記念事業を行います。

(※補) 国の第1次、第2次補正を活用し、市の平成21年度補正予算として実施する事業ですが、繰越明許(年度内に支出が終わらない見込みのあるもので、翌年度に繰り越して使用することができる経費)により事業を行うため、実施は平成22年度に入ってからになります。

「福祉の道の駅」予定地は…

市民交流エリアを考える

合併時の「新市建設計画」に記載し、平成20年4月まで進めてきた「福祉の道の駅」事業は、市長の選挙公約に基づき中止しましたが、このたび、このエリアを「市民が望む事業」として再構築する作業を開始しました。



懇談会を開催

平成18年に策定した市総合計画の基本構想では、京ヶ瀬地区（黒瀬・窪川原地域）の国道49号沿道の一部区域を「市民交流エリア」として位置づけています。このエリアでは、休憩施設や物産販売、情報発信機能だけでなく、健康・福祉、さらには定住化の促進といったやすらぎ空間の創造をコンセプトに「福祉の道の駅」を計画し、事業を進めてきましたが、市長の選挙公約に基づき中止しました。今後は、具体的な計画を策定するため、検討委員会を立ち上げる予定ですが、それに先立ち、市内の農・商工・観光・地域審議会、地元自治会等の代表者から意見をいただくため、1月20日、懇談会を開催しました。

市長の考え（説明要旨）

福祉の道の駅については、一昨年の市長選挙で中止を公約に掲げ、多くの市民から理解、賛同を得ました。今後の財政状況を考えたとき、阿賀野市の将来に必要なのか疑問を感じ、むしろ優先するのは地域医療の再生と考え、中止することとしたものです。交流エリアに適するものがあるのかは、時間をかけて考えていかなければなりません。市民の皆さまにも、しっかり途中経過を示しながら、またコンセンサスを得ながら良いものをつくっていきたくと考えています。具体的には、阿賀野市での成功事例ということで村杉の「うらの森」のようなものができないものかと考えています。パイパス沿いという地の利を生かし、観光情報等の提供、農産物や特産品の販売、市の食材を使った料理の提供などによって、人の流れを交流エリアに引き込み、交流人口増の仕掛けが行えればという考えです。

すべて行政がやる必要はなく、民間の活力やノウハウを十分活用し、公共用の部分も公設民営・指定管理者制度の導入を考え、市の魅力を発信できればと思っています。市外の人たちからも阿賀野市を良く知ってもらえるようなものが立ち上げられないかとは思っています。具体的なイメージはまだないので、皆さんからいろいろな意見をいただきたいと思っています。

出席者の意見

- 市長は、交流エリアをつくるという強い意志を持っているのでしょうか？
- 急に集まって「何かアイデアはないですか、どうですか」はどうかと思います。
- 地元の要望である9ヘクタールを考慮しながらやっていくという姿勢が見えない限りは、この場で意見をいくら言ってもダメだと思っています。「福祉の道の駅」という形で、国土交通省や県と話をするため市長から汗を流してもらい、道の駅という字が嫌なら別名でも良いので、白紙にも一度色づけしてもらいたいのです。
- 今回は新しい提案があったというところで、帰って皆に説明し、いろいろな案を持ってまた次回来たいと思います。地の利を最大限生かし、人が集まるエリアという形で提案したいと思っています。
- 福祉の道の駅計画は、市職員が勝手につくったものではありません。市の活性化のため、他所にはない福祉を取り入れた良い事業と思っていたので、もう一回民間と話し合うべきだと思います。
- ここにしかないきちんとしたものをつくっていくかなければ、どんな立派な施設をつくらうと、どんなに市民が納得するものをつくらうと、人は見向きもしません。3番煎じ、方向性をまず立てていただきたいと思っています。

私は福祉の道の駅に大賛成だったので、このエリアには、市民が喜ぶようなものをつくってほしいです。行政は、トップが代われば「止めた」などと言いますが、民間企業は社長が代わっても絶対にそんなことはありません。市長は「不景気で民間企業はあてにならない」と言いますが、もっと企業を信用してください。

●絵に描いた餅にならないように、みんなの希望にそえるような形でまとめ、進めるのであれば、早期に進めてもらいたいです。

※懇談会は、2月15日にも開催しました。その内容については、次号で紹介します。

この記事に関する問い合わせは、企画政策課へ
☎61・2483（直通）

阿賀野市の新しいまちづくりを考えよう

（仮称）まちづくり基本条例制定に向け グループ別会議がスタート



1月23日に市役所多目的ホールで開催された第2回市民検討会議では、初のグループ別会議ということで、1グループ7人ずつの4グループに分かれて自己紹介を行った後、ワークショップにより皆さんの意見や思いを発表し合いました。

テーマは「どんな条例にしたいか」

（仮称）まちづくり基本条例は、みんなの条例であり、市民と行政が協働でつくり上げていくことが基本です。今回のグループ別会議では、条例に対する皆さんの思いや考えをできる限り多く出していただくことを第一と考え、「どのようなまちづくり基本条例にしたいか？」をテーマに、一人ひとりが抱くまちづくり基本条例に対する思いや考えを伝え合いました。

グループに分かれてそれぞれの思いを発表

各グループ内で、発言のあった内容をまとめ、それをみんなで共有するため、グループ別に発表を行いました。各班から出された意見の一部を、ここで紹介します。
◆何といっても分かりやすい条例が良いだろうということ

で、親しみの持てる条例、誰にも分かりやすく読みやすい条例にしたいと思っています。

◆形式的に決まりを定めるのではなく、全体的に市が目指す理念が良く見えるものにしたいです。

◆条例をつくることより使うことにウエイトを置き、地域性をもっと出して阿賀野市のオリジナルのものをつくってほしいです。

◆阿賀野市が一番大事にすべきことは「信頼」。この条例を策定するにあたり、お互いの信頼関係というものが重要になるのではないのでしょうか。

◆制定までの過程、できあがるまでの段階で市民の意見や情報を多く取り込み、丁寧に十分時間をかけて作業を進めていきたいです。

◆今回発表のあった皆さんの意見や考え等について事務局で整理し、今後、（仮称）まちづくり基本条例の策定に向け議論していきたいと考えています。



**まちづくり基本条例
市民検討会議を開催します**

【第4回市民検討会議】

日時：3月13日（土）午後2時～
場所：阿賀野市役所1階「多目的ホール」
※会議はどなたでも傍聴できます。
興味のある方は、ぜひおいでください。



佐藤久衛さんに
総務大臣から感謝状

長年の選挙関係功労に対する総務大臣感謝状の伝達式が、2月18日に行われ、阿賀野市明るい選挙推進協議会の佐藤久衛さん（久保）に、感謝状が贈呈されました。

佐藤さんは、平成21年4月に退任するまで、協議会委員として18年間在職し、啓発活動を通して明るい選挙の実現に尽力されました。



指導農業士に認定

指導農業士制度は、優れた農業経営を実践し、地域農業の振興や農村青少年の育成等に貢献している農業者の社会的評価を高めるため、県知事が認定しているものです。

1月26日、五十嵐隆さん（新座）、脇坂裕一さん（境新）の2人が認定され、阿賀野市の指導農業士は14人になりました。今後の活躍が期待されます。



県大会で優勝！

1月31日に行われた「第17回東北電力杯新潟県少年フットサル大会」で、FC Agano ジュニアが2連覇を達成しました。

選手の成長を第一に考え、活動しているFC Agano。選手たちも、自主性と向上心を持って練習を重ねています。日々、成長を続ける選手たち。今後の活躍にも、大きな期待が寄せられます。

交通安全活動に感謝

交通安全推進団体・個人に感謝状

1月28日、日ごろから交通安全活動を推進している（助）阿賀野市交通安全協会と同協会員4人に、阿賀野警察署長から感謝状が贈られました。また、中山口自治会には、約40年にわたる交通安全活動が評価され、全日本交通安全協会から同協会長賞が授与されました。

平成21年中の阿賀野警察署管内の交通事故発生件数は170件で、平成に入ってから最も少なく、交通死亡事故は昭和36年以来最少となりました。

今後も、交通ルールをしっかりと守り、みんなで交通事故を防ぎましょう。



《感謝状が贈られた団体・個人》写真左から：遠藤まさ子さん（熊居新田）、田村廣治さん（折居）、阿賀野市交通安全協会（浦井政太郎会長）、小野里定男さん（六野瀬）、中山口自治会（加藤紘一交通部長）、※その他受賞者、藤田富敏さん（駒林）

いっぱい楽しんだよ

第10回さかみゆうぎの里の火祭り

2月13日、五頭山麓うららの森に会場に「ゆうぎの里の火祭り」が行われました。会場の中央にそびえ、もくもく煙を出し燃えあがる高さ12mの巨大さの神には、多くの家族連れが熱さに耐えながらスルメやもちを焼き、一年の健康を祈りました。

第10回開催を記念した前夜祭では、さいの神のライトアップのほか、雪上花火の打ち上げや無数の雪灯籠、こずつちよ広場の雪原にはイルミネーションが色鮮やかに点灯され、幻想的な世界を創りだしていました。



福音館書店の「ぐりとぐら」を例に、絵本の楽しさ・大切さを伝える講師・関口徹さん

子どもに絵本の世界を

子ども読書活動推進講演会

乳幼児・園児・小学生・中学生など、各年代に合わせた読書講演会が、1月から3回にわたって行われました。絵本は、読むことでいろいろな世界が広がり、子どもたちの心にたくさんのものを育んでくれます。

2月14日に行われた「妊産婦・乳幼児部門」の講演では、「おひぎにだつこで絵本の世界」と題して、福音館書店の関口徹さんから、絵本の大切さを伝えてもらいました。

平成22年は国民読書年。この機会に、絵本を通して子どもとふれあい、楽しい時間を過ごしてみませんか。

名品がずらり

陶芸家「田村吾川の仕事」展

当市（保田・庵地）出身で、人間国宝の佐々木象堂が開いた佐渡の真野陶苑の承継者で名高い陶芸家、昨年亡くなった田村吾川氏の陶芸展が、吉田東伍記念博物館で3月14日までの会期で開かれています。

初日の2月16日、故人の夫人や弟、親族らの列席のもと、開場に先立ちテープカットが行われました。

会場には、昭和30年代から晩年の作品まで数多く展示され、「地元で展覧会を開いてもらい大変うれし」と夫人の田村イシさん（新潟市在住）は喜びを話していました。



テープカット、田村イシさん（右）・田村教育長（左）

ウサギの巣も見つけたよ！

親子体験学習「かんじきハイク」



2月7日、五頭連峰少年自然の家と、いこいの森周辺を会場に「かんじき体験＆雪あそび」が行われ、市内の親子23組61人が参加しました。

午前は6班に分かれて、いこいの森の中でのかんじきハイクを体験。普段歩けない雪原を汗びっしょりになって歩き、自然観察やゲームを楽しみました。

午後は、自然の家で雪上パン食い競走やキャンプファイヤーなどが行われ、子どもたちは、この日一日、思い切り雪に親しみました。

やるでばー！マイナビ！

みんなでMy Navi

1月31日、「自分で自分をナビゲート（道案内）する機会を作ってもらおう」という事業「みんなでMy Navi」が、水原公民館で行われました。

「栄養学セミナー」や「体力チェック」、阿賀野市総合型クラブ「やるでばー！みんなで」主催の「フラダンス」などの体験会に、「スイーツデコレーション」「手作りお雛さま教室」など、内容盛りだくさんで行われ、参加者は親子で、友だち同士で、一日を通して楽しみました。



ハワイアンミュージックに合わせてフラダンスを体験

阿賀野市水原郷病院

水原郷病院健康管理センター



水原郷病院健康管理センタースタッフ

年間を通じて特定健康診査（特定健診）を実施しています

- 毎週月曜日（祝日は除く）
午前の部 受付時間 午前8時～8時20分
午後の部 受付時間 午後1時～1時30分
年度中に40～74歳になる方が対象となります。なお、75歳の誕生日の前日まで実施可能です。
- 料金は受診券に記載されています。（各保険で異なります）
- 平成21年度の間人ドック・健康診断等は、3月18日（木）までです。

特定健診	
身体計測	身長・体重・BMI・血圧・腹囲
理学的検査	内科診察
尿検査	尿糖・尿蛋白 ※尿潜血・腎機能検査（クレアチニン）
脂質検査	HDL-C・LDL-C・中性脂肪 ※総コレステロール
肝機能検査	GOT・GPT・γ-GTP
血糖検査	空腹時血糖・HbA1c
※貧血検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値） ※心電図、※眼底検査	

〔注〕※印は国民健康保険加入者のみ実施

特定健診 + 追加検査セット で 10,500 円（税込）

さらに胃レントゲン 6,300 円も追加できます 合計 16,800 円（税込）

※窓口負担額は加入されている健康保険により異なります。詳細は電話、Eメールで問い合わせください。

問い合わせ 水原郷病院健康管理センター
☎ 0250-63-1127（直通）
Eメール：kkc@aganocity-hp.com

新型インフルエンザワクチン接種

新型インフルエンザワクチン接種（小児科を含む）については、健康な成人をはじめ、どなたでも接種ができます（ただし、1歳未満を除く）。予防接種を希望の方は申し込みください。なお、接種は3月31日で終了予定です。

- 接種日＝木曜日のみ（ただし、小児科は月曜～金曜日）
- 接種申込＝当院予約受付窓口か予約専用電話（下欄）で申し込みください。
ただし、初診の方は、直接予約受付窓口で申し込みを行ってください。

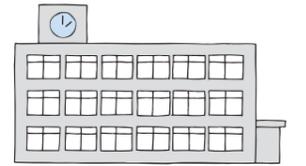
〒959-2093 阿賀野市岡山町13番23号 ☎ 0250-62-2780（代）

診療予約専用電話 ☎ 0250-62-2900（電話受付：月～金曜 14:30～16:30）

こんにちは



阿賀野高校です



URL <http://www.agano-h.nein.ed.jp>
Eメール school@agano-h.nein.ed.jp

生徒の大半を市民が占める、地域密着型の高校。
地域に開かれた魅力ある学校運営を目指して、高校での取り組みを定期的に紹介します。

12月25日、平成22年度の生徒会長および同副会長ら3人の認証式が行われました。全校生徒の投票により選ばれた役員たち。山崎公子校長から認証状が手渡されるまでは少し緊張した面持ちでしたが、「謹んでお受けいたします」との生徒会長の福井翼さんの言葉からは、大きな使命感とやる気みなぎっていました。



認証状授与式

～新年度の幕開け～ 生徒会役員認証式

今年度の防災訓練では、佐藤康広教頭が震災について講話し、物干し竿に衣服を通すだけで簡単に作ることができる「即席担架」を紹介するなど、生徒の心をひきつけました。震災は、いつ起きるかわかりませんが、一方の事態に備えて、日ごろから「防災意識」を心掛けてください。

震災に備えて 防災訓練を実施

12月8日、全校生徒461人が参加し、防災訓練を実施しました。新潟県で震災が頻発していることを受け、人命尊重、被害軽減の見地から、防災意識を高め、冷静かつ的確な判断により、迅速に避難できるように、また、地震災害に関する知識を習得するため、毎年実施しています。



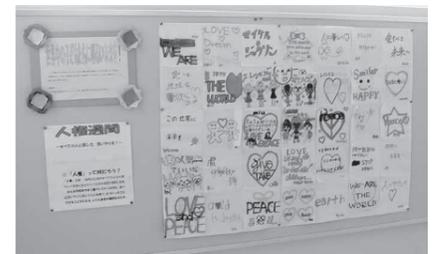
防災訓練での講話

「人権」を大切にする気持ちを持とう

本校では、昨年12月と今年2月の計2回にわたり、生徒に「人権」のことを考える機会を提供するため、同和教育・男女平等教育推進委員会を中心に、「人権」にちなんだ展示を行いました。

写真にあるのは、3年生選択科目「発達と保育」を選択した35人が、授業で「子どもの人権」について学習し、「児童虐待などで人権を傷つけられている子どもたちを守ろう」という願いを込めて書いたメッセージです。どのメッセージにも子どもたちの明るい未来を願う、温かい気持ちが込められています。

これからも定期的な「人権」に関する取り組みを行うとともに、一人ひとりの人権を大切にする気持ちを育ててほしいと願っています。

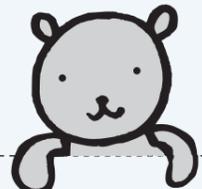


心のこもったメッセージ



★3月5日（金）
第3回
阿賀野高等学校卒業式
午前10時～

お知らせ



子どもたちへのメッセージ

市内の小学生全員に実施している生活アンケートの結果から

市では、子どもたちの健康づくりに役立てるため、平成19年度から市内全小学校の児童を対象に「生活アンケート」を行っています。

アンケートには「起床、就寝時刻は何時か」「朝食を食べているか」「家族と一緒に食事しているか」「お手伝いしているか」「テレビやビデオなどは、どれくらい見ているか」「夕食の時にテレビはついているか」などの項目があり、それらを保護者に記入してもらっています。

今回は、この生活アンケートの結果とあわせて、子どもたちや保護者に伝えたい4つのことを紹介します。ぜひ、家庭の中で実践してみてください。

1 message

早寝・早起き・朝ごはん



♥阿賀野市の子どもたちは遅寝・遅起き？

朝、6時30分までに起床している児童は約4割、夜9時30分までに就寝している児童は5割弱です。学年が進むにつれて起床、就寝時刻が遅くなる傾向があります。

ちなみに、1年生の約8割は夜9時30分までに寝ていますが、6年生になると2割弱になります。

♥午後10時～2時の熟睡が大切！

夜の10時から2時の間は、知識を蓄えるために必要な脳内ホルモンが多く分泌され、その日勉強したことや、感動した出来事を自分の知識にしていきます。つまり、この10時から2時の間に熟睡していることが、とても大切なのです。

♥早起きが良い理由

感動ホルモンは、朝の6時から9時までに多く分泌されます。このホルモンがたくさん分泌されることによって、その日1日を穏やかに過ごすことができます。さらに、感動ホルモンが多ければ多いほど、眠っている間の知識への変換が多く行われます。つまり、朝は6時に起床することが大切なのです。

♥朝ごはんのバランスは

ほとんどの子どもたちは、朝ごはんを食べていました。しかし、気になるのはその内容です。一番多かったのが「主食+主菜」の組み合わせで、「主食+主菜+副菜」の3種類が整った朝食をとっている児童は、2割弱にとどまっています。

一般的にバランスのとれた食事とは…

- ◎主食（ごはん、パン、めんなど）
- ◎主菜（肉、魚、卵、豆腐、納豆など）
- ◎副菜（主に野菜）

この3種類が整っている食事のことです。

朝の忙しい時間ではありますが、朝ごはんは、脳に十分な栄養を与えるためにも、とても大切です。いつもの味噌汁を具たくさんにするだけでもバランスが整いますので、ちょっと手を加えてみてはいかがでしょうか。

♥朝ごはんは脳の燃料です

朝ごはんは、寝ている間にフル回転させていた脳の燃料となります。朝の脳はかなりの燃料不足です。朝ごはんを燃料を満タンにするためにも、朝ごはんは必要です。

2 message

テレビ・ゲームは時間を決めて



♥阿賀野市の子どもたちはゲームづけ？

アンケートでは、平日と休日でテレビやゲームをしている時間に大きな差が見られました。

平日は2時間、休日では4時間以上が最も多い割合です。また、高学年になるほど時間が長くなる傾向がありました。

テレビの見方やゲームの時間などは、家庭でルールをつくっていくことが必要です。家族みんなで話し合い、テレビもゲームも、時間を決めて見たり・したりしましょう。

♥前頭前野の成長を阻害します

なぜ、テレビやゲームなどを長時間視聴するといけないのでしょうか？

脳には、感情をコントロールしたり、理性など人間らしさをつかさどったりする「前頭前野」という部分があります。この部分の成長は8歳までとされていますが、テレビなどのメディアと接触している間は、ほとんど活動していません。このため、テレビ、ゲームの長時間視聴は前頭前野の成長を阻害してしまうと考えられます。

3 message

家族で食事、みんなで会話



♥家族一緒に食事が「食育」です

阿賀野市の子どもたちは、家族みんなで食卓を囲んでいます。ほとんどの子どもたちが、1日1回以上、週5日以上家族と食事していることが分かりました。

子どもたちの成長によって、家族のスケジュールもばらばらになり、家族と一緒に食事を楽しみたくてもできなくなってきました。できる「今」を大切にしたいですね。

4 message

一人ひとつは、お手伝い



♥自尊心・責任感を育てるお手伝い

8割の子どもたちが、毎日あるいはときどき、何らかのお手伝いをしています。

子どもは、お手伝いをして、ほめられることによって、自分は家族から必要とされている存在であることを確信していきます。そうして、責任感が育てられていくのです。

また、「自分は家族にとって大切な存在であること」⇒「自分を大切にすること」⇒「自尊心」も育てられていきます。我慢の心や生活力など、たった一つのお手伝いからたくさんのことを学んでいきます。お手伝いが長続きできるよう、また、できることから始められるよう、家族でサポートしていけたらいいですね。

生涯学習のススメ



阿賀野市教育委員会・生涯学習課
☎ 62-5322 (笹支所内)

この本 だいすき

『大腸菌～進化のカギを握るミクロな生命体～』
カール・ジンマー／著 (NHK出版)

大腸菌=ばい菌。そんなイメージを持ってしまいがちですが、大腸菌は私たちの体内や身近なところにたくさん生息しています。さらに、この単細胞の細菌と私たち“ヒト”には数多くの共通点があるのです。生命のしくみと進化の歴史を示し、さまざまな分野で研究対象となった愛すべき細菌“エシエリキア・コリ”。その驚くべき生態をのぞいてみませんか。

★この本は市立図書館にあります★

『つづきの図書館』
柏葉幸子／著、山本容子／絵 (講談社)

身寄りのない伯母さんのお見舞いのため、30年ぶりに故郷に帰ってきた桃さん。ひよんなことから町の図書館で働くことになりました。石造りの古めかしい図書館には、気難しそうな館長と、なんと絵本から出てきたという“裸の王様”が…!? 本と人をつなぐ図書館を舞台に、本にこめられた読者の思いや、さまざまな家族の姿を温かく描いたファンタジー。

★この本は市立・水原・安田図書館にあります★

『うっかりものまほうつかい』
エヴゲーニイ・シユフルツ／作、オリガ・ヤクトーヴィチ／絵 (福音館書店)

学者、魔法使い、そして機械作りの名人でもあるイワンは、うっかりものが玉にキズ。たくさんの機械と、しっかりものの犬型ロボット「ロボくん」と暮らしています。ある日、馬車で通りかかった男の子に頼まれて、男の子の馬を猫に変えてみせました。ところが、ロボくんの非常ベルが鳴り出し…。

★この本は市立・水原・安田図書館にあります★

2010 国民読書年
2010年は、国民読書年です

3月のおはなし会のご案内

- おはなしのじかん
☆とき 3月6日・20日(土) 午後2時～
☆ところ 市立図書館 ☎ 67-2500
- たのしいえほんの会
☆とき 3月13日・27日(土) 午後2時～
☆ところ 市立図書館 ☎ 67-2500
- おはなしこんにちは
☆とき 3月11日(木) 午前10時30分～
☆ところ 水原図書館「絵本のコーナー」 ☎ 62-2028

ふるさと探訪 阿賀野市の歴史・文化・風土

歴史が見える風景(一)

昨年3・4月号で、水原代官所の周辺に今でも江戸時代の名残があることをお伝えしました。今回は「阿賀野川」をキーワードにして、引き続き歴史が見える風景について考えたいと思います。

阿賀野川について

少し中学校の地理の勉強をおさらいしてみよう。

阿賀野川は福島県と群馬県を源流として新潟県を流れ、日本海に注ぐ一級河川です。お隣の福島県では阿賀川と呼ばれています。全長210kmは全国第10位、

流域面積7,710km²は全国第8位で、日本有数の大河川です。

阿賀野川が、この地の歴史・文化・風土に大きな影響を与えてきたことは言うまでもありませんが、昔のその姿かたちは、現在の様子とだいぶ違っていました。

市内各地に見える昔の川跡

市内の各地で、阿賀野川の昔の川跡を見ることが出来ます。

【資料1】は京ヶ瀬地区の小島集落近辺の現在の写真です。右側が高くなっているように見えます。左側が低くなっている様子が見えます。かつて川が流れていたところ(旧河道)です。右側の高くなっているところは、土砂がたまって自然にできた堤防(自然堤防)です。写真右奥には、珠数掛ザクラで有名な梅護寺があります。

1207(承元)年、越後に流罪となった親鸞聖人が、この地の滞在を終え舟で帰る際に、傍らのサクラに自らの珠数を掛けたところ、そのサクラが翌年から珠数の房のように咲くようになったという越後七不思議のひとつです。

【資料1】小島周辺の写真

このように身近にある風景から、ふるさとの歴史の一端を見ることが出来ます。Ⅱ次号へ続くⅡ (文化行政係・記)

【資料2】江戸時代中期の絵図



京ヶ瀬公民館「大会議室」

連載④⑧ 施設紹介:京ヶ瀬公民館「大会議室」
ダンス・民謡等の練習や会議に適した施設です。
※利用時間:午前9時～午後9時30分
利用料:時間帯や用途によって異なります。
詳しくは、京ヶ瀬公民館係(京ヶ瀬支所内)に問い合わせください。

- #### 緑の少年団に入れる人
- ① 4月から市内の小学4・5・6年生になる人
 - ② 集合場所となる「市ふれあい会館」や「五頭連峰少年自然の家」にお家の人から送り迎えしてもらえる人
- #### 募集人数
- 30人(希望者が多い場合は6年生を優先します)
- #### 入団に必要なお金
- 入団費2,500円
(結団式で集めます)
- #### 申込方法
- すでに配ってあるチラシから「阿賀野市緑の少年団入団申込書」の部分を取り取り、必要事項を記入して、学校の先生に提出してください。
- #### 提出期限
- 3月10日(水)
- #### 問い合わせ
- ふれあい会館(相馬)
☎ 63・8019



緑の少年団は、緑に親しみ、緑を愛し、子どもたちの健康な心と体をはぐくみ、互いに力を合わせて、社会のために役立つ自主的な活動をするを目的とした団体です。王ヶ峰山(山寺地内)にある緑の少年団の「育林の森」では、団員たちが毎年、草刈りや枝起こしなどの整備を行っています。

一緒に活動しませんか 緑の少年団のススメ



パティシエから教えてもらったらよ!

2月6日、京和荘で「親子チョコ菓子作り教室」が開催され、市内の親子10組(22人)が参加しました。

講師は、「浜崎英靖さん(山口町)の浜崎英靖さん。教えてもらったのは、新鮮な卵を使った「なめらかチョコシュートプリン」と、阿賀野市産コシヒカリ100%の米粉で作る、小麦・卵アレルギーの人にも安心な「米粉のブルドネージュ」です。

「チョコ作りは温度が大切」と話す先生を見つめる子どもたちの目は、まさに真剣そのもの。教えてもらった2種類のチョコ菓子は誰もが納得のブロの味で、とってもおいしくできあがりしました。

サークル・団体ミニガイド⑩ ～やりたいことを見つけよう～

「生涯学習ガイドサークル・団体編」に掲載されている団体を少しずつ紹介します。詳細は「⑥連絡先」へ問い合わせください。

団体名	全日本写真連盟阿賀野支部	阿賀野市ウインドオーケストラ	民謡 弥生会
①ジャンル②活動場所③活動日④代表者⑤連絡先	①写真②市福祉会館③毎月第3木曜④中村秀夫⑤☎62-6627	①吹奏楽②市ふれあい会館・福祉会館③毎週土曜④荒木潤⑤☎62-6453	①民謡②市福祉会館③毎週金曜④田中敏⑤☎62-2234
水原レクリエーションダンスサークル「雪割草」	安田バレーボールクラブ	ストリートダンスサークル「ビーブルパワー」	日本語教室あがの
①レクダンス②水原公民館③第2・3・4月曜④阿部米子⑤☎62-5630	①バレーボール②安田体育館③毎週火曜④井関朱実⑤☎090-4050-4380	①ヒップホップダンス②安野小体育館、水原公民館③毎週火曜④塩田直美⑤☎090-2142-9652(大倉)	①日本語教室②市福祉会館③毎週土曜④原啓子⑤☎62-5841

♥ワクワク子育て⑧ 《子どもは遊びが仕事》遊びは子どもの成長にとっても大切です。特に幼児は、遊びを通して感覚を働かせ、運動し、ものをつくり、想像します。しかし最近、外で駆け回るような遊びから、家の中でのひとり遊びが多くなりました。テレビは好きだがおもちゃで遊べない、母親べったりで集団の中で遊べない子どもも現れています。子どもはのびのびと遊ばせましょう。 — 文科省 家庭教育手帳新潟県版から —



青春 ing 輝いている人

水中運動教室インストラクター 塚野しのぶさん (分田・28歳) ゼロからのスタート

昨年9月に始まった白鳥荘・元気づくりプールでの『水中運動教室』。塚野さんは、水原スイミングスクールに所属し、この教室の開始と同時にインストラクターとしてのスタートを切りました。

「水泳や運動の経験は、特になかったんです。もちろん、人に教えることも…。でも、この仕事はいろいろな人とふれあうことができる。そんなところに魅力を感じ、思い切ってチャレンジしました」

十日町市まで講習に通い、2か月間で『レインボー水中体操認定インストラクター』の資格を取得。今では、白鳥荘で水中運動を、水原スイミングスクールでは子どもたちに水泳を教えています。

教室を終えるたび反省し、ほかの先生を見て学び、「まだまだこれから」と言いながらも一歩ずつ着実に前進しています。

笑顔いっぱい教室に

水中運動の午前の教室は、朝9時から始まります。「朝は気持ちを高めるのが難しく…。1時間前からプールに入って、一人で大きな声を出してウォーミングアップしてるんですよ」と準備も入念。「みなさんが長く続けられるかは、私たちの指導力にかかっています。そんな責任があるから、少しだって手が抜けません」と表情を引き締めます。

目指すのは『笑顔の絶えない教室』。塚野さんは、何よりも生徒さんとのコミュニケーションを大切にしています。

「生徒さんたちは、本当に教室を楽しみにしてくれているんです。やっぱり、教室の後に『もう終わり？ 楽しくてあっという間だったよ』と言ってもらえたときが一番うれしいですね」

生徒さんたちの輝く笑顔は、塚野さんにさらなるパワーを与えているようです。



P.N もうすぐ春さん



P.N ケンゾーさん



P.N ひな祭りさん

おしゃべり 広場

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。



●「私の住む地域」は今まで何気なく読んでいたが、じっくり読むと、自分が住んでいるまじのことがよく分かった。昔の広報あがのをひっぱり出して読み返しています。(20代・男性)

☆私も初めて聞かせてもらうことが多く、いつも感心したり、感動したりしています。(20代・男性)

●他人事でない「認知症」。たとえなつたとしても、家族が住みなれた地域で安心して住み続けられるように、いろいろな対策に取り組んでもらいたいと思います。(60代・女性)

●写真クイズ「まちがいがさし」の中に、持っている本がありました。久しぶりに、子どもに読んで聞かせてあげようと思いました。(？代・女性)

●子どもには、寝る前に必ず本を読んであげます。これからは、子ども本を読んでいきます。(20代・女性)

☆私も寝る前の布団の中が読書タイム。すぐ寝てしまい、全く進まないのが悩みです。(20代・女性)

●表紙の裸詣りの写真を見て、寒そうだなあと思いました。

●「ストップ活字離れ！」私も意識して活字が身近にある生活を心がけています。市立図書館は素晴らしい図書館です。子どもが小さいころから一緒に通っています。これからは大いに利用させていただきます。(30代・女性)

●「わくわくクッキング」が楽しみです。マイブームでパン作りを楽しんでいます。米粉で手軽に作れると書かれていたので、休日にチャレンジ！(10代・女性)

●「わくわくクッキング」が楽しみです。マイブームでパン作りを楽しんでいます。米粉で手軽に作れると書かれていたので、休日にチャレンジ！(10代・女性)

●2月は、簡単に作れるパレンティンレシピとかも載せてほしいです。(20代・男性)

●頭体操だと思って、広報クイズに挑戦しています。これからは、簡単な挑戦しようと思えます。編集後記の記述はユーモアがあつて親しみやすいです。(20代・男性)

●毎年、裸詣りに参加する人が減ってきている気がします。けれど、今年も寒さに負けず、元気に過したいです！(10代・女性)

●頭の体操だと思って、広報クイズに挑戦しています。これからは、簡単な挑戦しようと思えます。編集後記の記述はユーモアがあつて親しみやすいです。(20代・男性)

●2月は、簡単に作れるパレンティンレシピとかも載せてほしいです。(20代・男性)

●「私の住む地域」は今まで何気なく読んでいたが、じっくり読むと、自分が住んでいるまじのことがよく分かった。昔の広報あがのをひっぱり出して読み返しています。(20代・男性)

☆私も初めて聞かせてもらうことが多く、いつも感心したり、感動したりしています。(20代・男性)

●他人事でない「認知症」。たとえなつたとしても、家族が住みなれた地域で安心して住み続けられるように、いろいろな対策に取り組んでもらいたいと思います。(60代・女性)

●写真クイズ「まちがいがさし」の中に、持っている本がありました。久しぶりに、子どもに読んで聞かせてあげようと思いました。(？代・女性)

●子どもには、寝る前に必ず本を読んであげます。これからは、子ども本を読んでいきます。(20代・女性)

☆私も寝る前の布団の中が読書タイム。すぐ寝てしまい、全く進まないのが悩みです。(20代・女性)

●表紙の裸詣りの写真を見て、寒そうだなあと思いました。

●「私の住む地域」は今まで何気なく読んでいたが、じっくり読むと、自分が住んでいるまじのことがよく分かった。昔の広報あがのをひっぱり出して読み返しています。(20代・男性)

☆私も初めて聞かせてもらうことが多く、いつも感心したり、感動したりしています。(20代・男性)

●他人事でない「認知症」。たとえなつたとしても、家族が住みなれた地域で安心して住み続けられるように、いろいろな対策に取り組んでもらいたいと思います。(60代・女性)

●写真クイズ「まちがいがさし」の中に、持っている本がありました。久しぶりに、子どもに読んで聞かせてあげようと思いました。(？代・女性)

●子どもには、寝る前に必ず本を読んであげます。これからは、子ども本を読んでいきます。(20代・女性)

☆私も寝る前の布団の中が読書タイム。すぐ寝てしまい、全く進まないのが悩みです。(20代・女性)

●表紙の裸詣りの写真を見て、寒そうだなあと思いました。

わくわくクッキング♪

ミルクもち

食生活改善推進委員がメニューを紹介します

とてもやさしい味に仕上がるおやつです。牛乳やきな粉を使っているので、カルシウムがとれて栄養満点です。きな粉のほかに、黒蜜やみたらしあんでもお試しください。



【材料】(4人分)

- 牛乳 ……………200g
- かたくり粉 ……………30g
- 砂糖 …………… 大さじ1
- A: きな粉 ……………大さじ1強
- 砂糖 ……………大さじ1強
- 塩 …………… 少々

- ①牛乳、砂糖、かたくり粉を鍋に入れて、混ぜてから火にかけ、よく混ぜながら練る。
- ②Aを混ぜてパットにしいておく。
- ③①をスプーンですくって食べやすい大きさに丸め、②の上に置き、きな粉をまぶす。

(1人分の栄養価…エネルギー 112kcal、カルシウム 92mg、塩分 0.1g)

◇クラフツサークル紹介◇

タイ式ヨガ「ルーシーダットン」

活動日：毎週火曜 (午前 11 時～正午、午後 6 時～7 時、午後 7 時 30 分～8 時 30 分の 3 回)

場 所：市福祉会館

会員数：各回 15 人程度

連絡先：伊藤祥子 (北園町) ☎ 080-5446-4163



◇活動内容◇

ルーシーダットンは、古くからタイに伝わる健康法で、もともとは自己整体として生まれました。深い呼吸とゆっくりとした動き(ポーズ)で、体を伸ばしながらゆがみを整え、自分自身で本来あるべき体の状態に戻していく。インド式ヨガやピラティスよりも簡単にでき、体への負担も少なく、何より気持ち良いのが特徴のエクササイズです。

この教室では、ストレッチを交えながら、毎回 8 ～ 10 種類ほどのポーズを行っています。

◇もっと教えて！◇

小さな子どもから年配の方まで、体が固い・運動が苦手・体力に自信がないという人でも、誰でも手軽に、無理なく始められるというルーシーダットン。

ゆっくりとした動きなので、心まで穏やかになり、心身ともにリフレッシュすることが出来ます。

基礎代謝を高めるため、続けることで、冷え性や便秘、むくみの改善、ストレス解消、ダイエットにも効果があります。

仕事で疲れ、ゆっくりとした時間を持つことがないあなた。まずは、心と体をリラックスさせるために始めてみませんか。メンバーは随時募集しています！

あなたに挑戦
今月は「クロスワード」



難易度 ★★★★★

広報クイズ

1 漢字	2		3 漢字	4 A
5			6	C
		7		
8 E	9		10	
		B	11 漢字	12
13			D	

問題

二重枠のA～Eの順に言葉を並べて、阿賀野市に
関係のある言葉を作ってください。

問題の答えと3月号の感想などをお書きの上、
あなたの住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、
ハガキかFAX、Eメールで3月23日(火)までに
応募ください。ペンネームや匿名での掲載を希望
する方も、氏名は必ず書いてください。

正解者の中から抽選で毎月10人に500円の
図書カードをプレゼントします。

FAX: 0250-62-0281

Eメール: kikaku@city.agano.niigata.jp

広報あがのでは、皆さんからのご意見ご感想を
お待ちしております。その他、地域の話や珍しい出来事、
自慢のイラストなど、どしどしお寄せください。

注意: 1、3、11のマスには漢字が入りますが、タテと
ヨコで読みが異なる場合があります。応募する答えには関係
ありませんが、熟語が完成します。

◎ヨコのカギ

- 1 春は眠くて起きられない…。___ 暁を覚えず。
- 3 出会いを大切に、ということわざ。___ 一会。
- 5 "かける"でも"エックス"でもない「X」の読みは?
- 6 商品の値段と、レジで渡したお金との差額。
- 7 良い知らせは、こうやって待ちます。
- 8 おなじみの薬草。草もちにも使います。
- 11 朝刊では、だいたい最終面に掲載しています。
- 13 大相撲で前頭以上の力士または地位。定員は42名。

◎タテのカギ

- 1 大阪で三月に開催される15日間の戦い。
- 2 クマのプーさんが好きなのは、ハチの___。
- 3 「みつづ」-「ふたつ」=?
- 4 オリンピックを漢字で表した日本独自の略称。
- 6 犬だったら、これぐらいはできないとねえ。
- 7 鴨が背負ってくると都合がよい野菜。
- 9 茶色っぽくて糸状で、ぬるっとした海の食べ物。
- 10 毒を持ち、プツと膨れる魚。おいしい(らしい)。
- 11 住所を表示するときの、土地の番号。
- 12 3月3日はひな祭りとは何の日? ねえ…聞いてる?
(作: 博太郎)

クイズの答え

住所
氏名・年齢・電話番号

今月号の感想などをお書き
ください。

959-2092

阿賀野市役所
広報広聴係
行

★2月号の正解



応募総数 43通
正解 42通でした!

★2月号の当選者

- ・P.N ダンスマンさん
- ・波多野真弓さん
- ・P.N ケンゾーさん
- ・P.N マーさん
- ・匿名希望さん
- ・諏訪淳一さん
- ・佐藤照秀さん
- ・P.N みえりん♪さん
- ・P.N パンダさん
- ・P.N アキコさん

【編集後記】

▼今冬は例年になく雪が多く降り、毎朝の雪のけに苦労した人も多かったのではないのでしょうか。この時季、ちょっとでも早く起きるのは本当にうれしいですね。わが家では夕方に雪が降り、短時間だったのに腕や腰に違和感を覚え、歳のせいでしょうか。取材でゆうきの里の火祭りへ。雪上でのふらふらと食べる熱々のトシ汁は格別のうまさです。凍える体が心から温まり、雪国に生まれた幸せを感じました。(と)

▼今月号の編集中に冬季オリンピックが開会。家に帰るとすぐにテレビをつけて、夜遅くまで観戦。普段、見たこともない競技をルールも分からず見ていました。それにしても、アスリートたちは本当にすごいですね。人間ドックで運動不足を指摘され、体力年齢が実年齢のプラス2歳だった私とは大違い。(個人的にはプラス2歳ですんだことにホッとしていたのですが…)春になったら何か運動しなくては!

▼社会人になってから、1年1kgずつ順調に体重が増えていきます。というわけで、最近「〇〇するだけ」というダイエット法に興味津々です。巻くだけ、貼るだけ、測るだけ…。そして今話題の、背伸びするだけダイエット。そう、この「背伸びダイエット」の考案者・佐藤万成先生(現役医師)が、3月6日「阿賀野市元気づくり大会」で講演を行います。これさえ聞けば、体重増加を止められる!かも!



畑から水田に
京ヶ島は市の西部、国道49号を新潟市方向に向かい、京ヶ瀬支所前の交差点を左折し進んでいくと最初に見えてくる集落で、「京ヶ島」と「京ヶ島第二」の自治会がおかれています。
昔は集落の際まで阿賀野川が流れていたことから、たびたび洪水などで苦しんできました。大正初め国が阿賀野川を直流とする改修工事に着手。新堤が造られ、隣接地は古阿賀となり埋め立てられ、

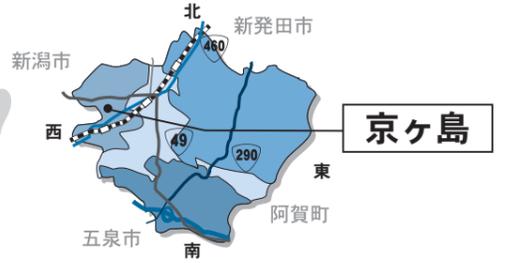
現在のようになりました。
また、昭和30年頃までは辺り一面に桑畑が広がり養蚕が盛んでしたが、土地改良事業による耕地整理が進められ、桑畑は新しく水田に生まれ変わりました。
京ヶ島神楽
京ヶ島には、古くから舞い継がれてきた郷土芸能「京ヶ島神楽」があります。新潟市秋葉区(旧津市)七日町から伝わったとされ、地元の鎮守諏訪神社の春祭り(4月)と秋祭り(10月)の年2回、

地元住民に聞いた
私の住む地域
とこころ

●今月は京ヶ島です●



京ヶ島ふれあいセンター竣工記念(平成10年2月)



■世帯数 103 市役所から市営バス前山線まで約34~36分(京ヶ島上、京ヶ島川前、京ヶ島下で下車)
■人口 422 (2月1日現在)

地域の活動拠点

京ヶ島ふれあいセンターは平成10年2月、県などから補助金を受けて建設した間口12間、奥行4間の大きな施設です。このセンターの建設にあたっては、地元の人誰もが親しみをもって利用しやすいものになるようにと、自治会役員のほか各組から2人の委員を選出し、総勢26人の建設委員会を組織しました。委員会では、使い勝手や施設規模、安全性など、いろいろな観点からの意見や提案が出され、約3年間延べ28回ほど真剣な話し合いが重ねられました。今では、集落の大小の会合を始め、子供会や老人クラブ、婦人会、消防団など各種団体の活動拠点となっており、地域のコミュニケーションを深めるためのなくてはならない施設になっています。

「自助、共助、公助」

先日、災害時の「地域における自助・共助の重要性」というテーマで講演を聴く機会がありました。講演では、阪神・淡路大震災の被災地神戸市で建物倒壊により下敷きになった人のうち、消防団や近隣住民によって救助された人が消防隊員によって救助された人の8倍以上にもなったという実態が紹介され、災害時における行政の初動体制の限界が提示されました。

この災害を踏まえ、地震などの自然災害に對しては、これまでの「公助(行政がすべきこと)」「自助(住民個人がすべきこと)」「共助(地域がなすべきこと)との連携が重要であり、このことにより地域の防災力が高められ、被害の程度を抑えることができる」という話でした。全くそのとおりだと思います。

市長エッセー
一言市榮
いちごいちえ

族や地域の中での人間関係や絆が薄れてきていることと関係があるように思います。
物のない時代や工場化・機械化されていない時代には、多くのモノやサービスを、個人・家族の力で、または近所・地域の助け合いの中で生み出してきました。このように、昔は自助、共助が当たり前で、公助の役割は小さいものでした。

天野 市榮

高度経済成長期に入り、民(企業)や官(政府)によるさまざまなモノやサービスが溢れるに伴い、自助や共助の精神が徐々に薄れ、公助への期待や役割が大きくなりました。
経済が成長期から成熟期に入った現在、大きくは膨大な財政負担が必要になっていきます。あらためて、自助、共助の役割や機能を再評価し、その重要性を認識すべき時期に来ているのではないのでしょうか。

いざなぎ君!



作・伊藤 将俊
もう一話、市のホームページに掲載しています。

スマイルキッズ

Smile Kids



勇伍くん(1歳5か月)

石井 志歩 ちゃん(3歳1か月) / 小松(パパ敏孝さん・ママ里子さん)

『しほ』は、おとうとの『ゆうご』と、とーってもなかよし! だから、しほがわらうとゆうごもニコニコ、ゆうごがわらうとしほもニコニコしちゃうんだ♪ ゆうごがしほのおもちゃを「ちょーだい」するときだって、しほ、ちゃんと「どーぞ」ってかしてあげるのよ。ケンカなんて、ぜんぜんしないもんね☆

もう一匹の家族



ぼくはポメラニアン「ポム」。真っ黒なお鼻とふわふわの毛がチャームポイントなんだよ。
ぼくね、「カミカミ」するのがだ〜い好き。床に置いてあるものはなんでもかじっちゃうんだ。時には、自分の足までかんじったりして…。へへへっ。
生まれたばかりのときに大ケガをして家族のみんなに心配かけちゃったけど、今はとっても元気! 命を助けてくれた家族への恩返しに、精いっぱい、愛嬌振りまいちゃうもんね♡

塩田宇生さん(安野町)宅の「ポム」くんでした

長岡市の新潟県立歴史博物館では、現在、冬季企画展「発掘が語る新潟の歴史2009」が開催されています。この企画展では、阿賀野市の山口遺跡・三辺稲荷遺跡をはじめ、近年行われた縄文時代〜江戸時代の遺跡の調査結果を、出土遺物と写真パネルで紹介しています。
開催期間は3月22日まで(月曜休館)。企画展の観覧は無料です。ぜひご覧ください。



企画展の初日は、当市の学芸員が展示遺物の紹介をしました。

市内見て歩記のコーナー等で紹介しきれなかった写真や出来事を紹介します。

